

インシデント・アクシデント報告（児童発達）令和2年4月～令和3年1月（1/30付）

*4月は新型コロナ感染予防対策のため、ぼてと活動日数が通常よりは少ない。

月	総数	時間						男女比		場所別										事故の分類（何があった）														理由				
		8時台	9時台	10時台	13時台	14時台	15時台	男	女	遊戯室	中庭	児発室	放課後 部屋	駐車場	畑・ 海・ 川・公 園	車内	廊下・ トイレ	その他	転倒	転落	衝突	打撲	捻挫	指はさ み	噛みつ き・ひ っか き	外傷 （擦り 傷・切 り傷）	アレル ギー	感染症 （発熱・ 嘔吐）	車内ト ラブル	他害行 為	脱走・ 飛び出 し	その他	活動内 容・周 辺状況	要因の 遊具・ 用具	子ども 同士の 関り	特性	不明	
4月	13	2	3	0	4	4	0	13	0	8	0	3	0	0	1	0	1	0	3	2	2	1	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	4	4	2	2	1	
5月	42	3	6	0	16	16	1	39	3	18	5	12	3	2	0	1	1	0	4	2	5	9	1	2	4	5	0	0	1	8	1	0	8	11	13	10	0	
6月	35	0	5	2	0	15	13	28	7	12	0	16	0	0	0	2	4	1	6	1	1	1	1	0	6	8	0	1	0	7	0	3	10	6	14	3	2	
7月	33	0	5	7	0	13	8	27	6	19	1	12	0	0	0	0	1	0	2	1	4	11	1	0	3	8	0	0	0	3	0	0	13	7	10	3	0	
8月	41	0	3	13	1	13	11	36	5	23	0	15	0	2	0	0	1	0	6	4	10	5	0	1	0	4	3	0	0	8	0	0	20	4	12	5	0	
9月	36	0	7	6	0	15	8	26	10	13	3	15	1	0	0	0	3	1	3	4	6	13	0	3	1	2	1	0	0	0	0	3	13	9	5	7	2	
10月	37	0	8	2	1	16	10	31	6	18	0	13	0	2	0	1	3	0	8	1	5	8	0	0	0	3	1	0	1	5	1	4	20	7	6	4	0	
11月	20	0	0	3	0	9	8	15	5	2	3	12	0	0	0	2	0	1	1	0	0	9	0	0	0	3	0	0	0	5	2	0	7	1	1	9	2	
12月	22	0	1	7	2	8	4	17	5	5	5	6	0	2	0	1	2	1	5	2	2	3	0	1	0	6	0	0	0	0	2	1	13	3	3	2	1	
1月	16	1	3	1	1	3	7	9	7	1	3	8	1	0	0	2	1	0	1	0	1	7	0	0	0	4	0	0	0	1	1	1	9	0	2	5	0	
合計	295	6	41	41	25	112	70	241	54	119	20	112	5	8	1	9	17	4	39	17	36	67	3	8	15	45	5	1	2	38	7	12	117	52	68	50	8	

・1月インシデント件数は18件 児童に関する事案6件（周辺視野の狭さ1、体の不器用さ1、車ドアの開閉2、アレルギー（ぬいぐるみ？）1、他児トラブル1）、物品・環境に関する事案6件（平均台、シートベルト、ボールプール近くの高い机、ムカデ、内服薬の落とし物1）事務に関する事案6件（職員による児童確認2件、利用表に関する2件、ノート忘れ記載に関して2件）

1月対策として

活動に関すること

- ・集団療育の中でテンションが上がると、周りが見えなくなる特性に合わせて、走る方向性、スピード、一度に参加する人数の制限など、その都度対応していく。
→危ない場面は、一度活動や児の動きを止める対応もあり。参加している児童の特性を踏まえ予測を立てたうえでの対策を講じていく。
- ・ドアの指はさみ事案→子ども同士の関わりもあるが、ドアクッションの劣化も見られるので、確認交換進めていく。（未実施にて再度確認）
- ・帰る前の対策として、一度中庭から出る際に、フェンス前で送迎車に乗る児童とスタッフがそろったことを確認してから移動することを徹底する（今後も継続して続ける）
- ・駐車場入り口と中庭入口の施錠⇒中庭での活動で「つい」「うっかり」はあり得る必ず職員で施錠を徹底していく。

送迎に関することについて

- ・各子ども園・幼稚園の入り口施錠操作⇒呼称・指さしするなど職員で確実に行う。
- ・操縦操作について⇒駐車場から出る際、ゆっくり出るなど安全で児童に優しい操作を心がける。
- ・車内からの開閉レバーを触る⇒特定の児ではあるので、特性と捉え、注意して関わる。（アンパンマンの○Xカード利用など）

環境整備に関して

- ・体調を崩す職員もあり、内服薬等に関して、保管について各自責任をもち管理をお願いする。
- ・掃除等に関してアレルギー対策を兼ねて、各部署ごとに時間を確保し実施をお願いする。
- ・机や椅子のねじはずれ・サッカーゴールのねじ外れ、ボールプール内の落下物⇒環境整備する中で発見に至る、今後も環境整備の取り組みを全職員意識して行う
- ・階段からの転倒⇒廊下での活動後マットをひっぱる場面で、階段に背を向けた状況だったので、今後同じ場面では注意していく。

特性への対応に関して

- ・机上の活動での机をガタガタさせる⇒特性を捉え、対策・支援行う。
- ・危険予測の弱さ、噛みつき、脱走、飛び出し周辺視野の狭さからくる怪我に関しては、個別支援を進めていく
- ・午後は特に他児トラブル（特定の児、組み合わせは存在する）についても、傾向をつかみ対応を進める。

事務処理に関して

- ・利用表の配布ミス、確認ミス、ノート忘れ記載ミスなどある⇒二重確認のルールの順守、基本を守る。職員間で声をかけあう。
「？」と思うことは、必ず確認し合う。「たぶん大丈夫だろう」ではなく「これで大丈夫！」と互いに確認し合って行動に起こしていく